

- 22) Shahiqul J, 原田史子, 大石めぐみ, 相田 恵, 前田健康: NT-4/5 は歯根膜ルフィニ神経終末の再生早期に関与する. 第4回日本再生歯科医学会学術大会および総会, 大阪, 2006. 9. 9-10, 抄録集, p43, 2006.
- 23) 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 河野芳朗, 前田健康: ラット顎関節における関節腔形成機構. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 124, 2006.
- 24) 相田 恵, 鈴木晶子, ナンダセーナ タランガ, 井上佳世子, 前田健康: 歯根膜ルフィニ神経終末の発生過程における GDNF および同受容体の発現. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 125, 2006.
- 25) 小島 拓, 李 敏啓, 齊藤 力, 前田健康, 網塚憲生: 軟骨内骨化の MMP-9 の役割における組織学的検討. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 126, 2006.
- 26) 吉田恵子, 魚島勝美, 羽下麻衣子, 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 野村修一, 前田健康: 温熱刺激がラット骨組織に及ぼす影響に関する組織学的検索. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 127, 2006.
- 27) 黒瀬雅之, 山村健介, Rahman Mostafeezur, 井上 誠, 吉田教明, 前田健康, 山田好秋: 自由行動下マウスを用いた咀嚼運動の解析. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 135, 2006.
- 28) 野澤-井上佳世子, 鈴木晶子, 河野芳朗, 前田健康: ラット顎関節におけるカベオリンファミリー蛋白の局在. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 163, 2006.
- 29) 青木由香莉, 李 敏啓, Ubaidus Sobhan, 小澤英浩, 前田健康, 吉江弘正, 山崎和久, 網塚憲生: 骨端軟骨の FGFR3 発現局在における分子組織化学的検索. 平成18年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2006. 11. 11, 新潟歯学会雑誌, 36: 317-318, 2006.
- 30) 小島 拓, 李 敏啓, 齊藤 力, 前田健康, 網塚憲生: MMP-9 遺伝子欠損マウスにおける軟骨内骨化異常の組織学的解析. 平成18年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2006. 11. 11, 新潟歯学会雑誌, 36: 318, 2006.
- 31) 吉田恵子, 魚島勝美, 羽下麻衣子, 野村修一, 前田健康: 骨基質への温熱刺激が骨形成に与える影響. 平成18年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2006. 11. 11, 新潟歯学会雑誌, 36: 319-320, 2006.
- 32) 河野芳朗, 河野承子, 井上佳世子, 鈴木晶子, 前田健康: ACP デイファレンシャルディスプレイ法によるエナメル質形成に関与する遺伝子の検索-ラット切歯における Calcyclin (S100A6) の発現. 第112回日本解剖学会総会・全国学術大会, 大阪, 2007. 3. 27-29, 解剖学会雑誌, 82: 269, 2007.

【研究会発表】

- 1) 瀬尾憲司, 相田 恵, 前田健康: 出生直後のカプサイシン注射はサブスタンス P の放出を阻害する. 第64回新潟麻酔懇話会・第43回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 新潟, 2006. 12. 2.

【その他】

- 1) 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 河野芳朗, 前田健康: 第3回歯科基礎医学会優秀ポスター発表賞. ラット顎関節における関節腔形成機構. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 横浜, 2006. 9. 22-23, 歯科基礎医学会雑誌, 48(抄録集): 124, 2006.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Nasu M, Ito M, Ishida Y, Numa N, Komaru K, Nomura S, Oda K: Aberrant interchain disulfide bridge of tissue-nonspecific alkaline phosphatase with an Arg433->Cys substitution associated with severe hypophosphatasia. FEBS J. 273, 5612-5624, 2006.
- 2) Kondo N, Tokunaga K, Ito T, Arai K, Amizuka N, Li M, Kitahara H, Ito M, Naito M, Shu-Ying J, Oda K, Murai T, Takano R, Ogose A, Endo N: High dose glucocorticoid hampers bone formation and resorption after bone marrow ablation in rat. Microsc. Res. Tech, 69: 839-46, 2006.
- 3) Sohda M, Misumi, Y, Yoshimura S, Nakamura N, Fusano T, Ogata S, Sakisaka S, Ikehara Y: The interaction of two tethering factors, p115 and COG complex, is required for Golgi integrity. Traffic 8, 270-284, 2007
- 4) Li M, Sasaki T, Ono K, Paulo Henrique Luiz de Freitas, Sobhan Ubaidus, Kojima T, Shimomura J, Oda K, Amizuka N: Distribution of macrophages, osteoclasts and the B-lymphocyte lineage in osteolytic metastasis of mouse

mammary carcinoma. BioMed Res. in press. 2007

【総説】

- 1) 鈴木啓展, 大島勇人, 織田公光, 李 敏啓, 網塚憲生, 吉江弘正, 野田政樹, 前田健康, 小澤英浩:「Klotho 遺伝子欠損が骨の細胞および骨気質に及ぼす影響」. THE BONE グラビア, メディカルレビュー社, 20 (4), 3-7 頁, 2006.

【学会発表】

- 1) 那須真樹子, 石田陽子, 沼奈津子, 織田公光, 野村修一: 低ホスファターゼ症における突然変異型アルカリホスファターゼ R433C の細胞生物学的解析. 第 48 回歯科基礎医学会大会, 鶴見, 2006. 9. 21-23, 抄録集: 138, 2006.
- 2) 五関-曾根 正江, 曾我部 夏子, 織田 公光, 折茂 英生, 細井 孝之: 骨密度と関連する臓器非特異型アルカリホスファターゼ遺伝子多型における酵素化学的性質生合成および三次元モデルの比較. 第 24 回 日本骨代謝学会学術集会, 東京, 2006. 7. 8, プログラム抄録集: 199, 2006.
- 3) 那須真樹子, 石田陽子, 沼奈津子, 織田公光, 野村修一: 突然変異型アルカリホスファターゼ R433C の細胞生物学的解析. 日本補綴歯科学会第 115 回学術大会, 札幌, 2007. 7. 8-9, 日本補綴歯科学会雑誌, 50 (特別号): 168, 2006.
- 4) Ali, M-N, Ejiri, S, Kobayashi T, Oda K, Ohshima H, Saito C.: Histological analysis of a rat model of mandibular distraction osteogenesis. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 新潟歯学会誌: 315, 2006.
- 5) 那須真樹子, 石田陽子, 沼奈津子, 野村修一, 織田公光: ジスルフィド結合で架橋された組織非特異型アルカリホスファターゼ R433C の解析. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 新潟歯学会誌: 316, 2006.
- 6) 広瀬 聡, 李 敏啓, 坂上直子, 小島 拓, 織田公光, 網塚憲生, 齊藤 力: 骨リモデリングと骨細胞・骨細管系の再構築に関する形態学的検索, 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 新潟歯学会誌: 318, 2006.
- 7) 坂上直子, 李 敏啓, Ubaidus Sobhan, Paulo Henrique, 小島 拓, 織田公光, 小澤英浩, 網塚憲生: カップリングとリモデリングのどちらが骨細胞・骨細管系の構築を規定するか, 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11.11, 新潟歯学会: 319, 2006.
- 8) 水野 敏, 山田昭司, 大家正康, 後藤 淳: イマー

ジングプレート (IP) を使用した外部放射線の測定の可能性. 第 43 回アイソトープ・放射線研究会, 東京, 2006. 7. 5-7, 放射線研究会発表要旨集: 47, 2006.

- 9) 水野 敏, 織田公光, 天谷吉弘, 後藤淳: 自然計数・計数効率 - 初めて取り扱う放射同位元素 (RI) を安全に使用するために. 第 43 回アイソトープ・放射線研究会, 東京, 2006. 7. 5-7, 放射線研究会発表要旨集: 147, 2006.

口腔生理学分野

【論文】

- 1) Miyaoka Y, Haishima K, Takagi M, Haishima H, Asari J, Yamada Y: Influences of thermal and gustatory characteristics on sensory and motor aspects of swallowing. *Dysphagia*, 21: 38-48, 2006.
- 2) Yamada M, Koga Y, Okayasu I, Sanefuji K, Yamada Y, Oi K, Yoshida N: Influence of soft diet feeding on development of masticatory function. *J Jpn Soc Stomatognath Funct*, 12: 118-125, 2006.
- 3) Sugita K, Inoue M, Taniguchi H, Ootaki S, Igarashi A, Yamada Y: Effects of Food Consistency on Tongue Pressure during Swallowing. *J Oral Biosci*, 48: 278-285, 2006.
- 4) Okada A, Honma M, Nomura S, Yamada Y: Oral behavior from food intake until terminal swallow. *Physiol Behav*, 90: 172-9, 2006.
- 5) Kijima H, Shingai T, Takahashi Y, Kajii Y, Fukushima S, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Nitric oxide modulates elicitation of reflex swallowing from the pharynx in rats. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol*, 291: 651-6, 2006.
- 6) Yamamura K: Mastication-induced modulation of orofacial sensory inputs as seen in the jaw reflex and single neuronal activities in the primary face somatosensory cortex. *Arch. Oral Biol*, 52:329-33, 2006.
- 7) Hayashi Y, Kobayashi H, Yamada Y, Miyakawa O, Tujimoto K: Effects of Heat Treatment on Fatigue Strength of Occlusal Rests Cast with Ag-Pd-Cu-Au Alloy. *Prosthodont Res Pract*, 5: 195-202, 2006.
- 8) 山田好秋: 嚥下の神経生理学. 日摂食嚥下リハ会誌, 10: 3-11, 2006.
- 9) 齊藤米蔵, 平野秀利, 黒瀬雅之, 山田好秋: 電子式 Goniometer を用いた頭部屈曲・回転運動時の関